

## 3月21日のウクライナ情報

安齋育郎

### (1)プーチン氏の勝利宣言 通算5選決める 開票率7割で87%獲得(2024年3月18日)

ロシア大統領選(任期6年)では17日、現職のウラジーミル・プーチン大統領(71)が通算5選を決め、「何よりもまずロシア国民に感謝したい。我々は一つのチームだ」と勝利を宣言した。中央選挙管理委員会の暫定集計によると、開票率70.03%でプーチン氏が87.17%を獲得した。

選挙本部で支援者らを前にしたプーチン氏は「目の前には多くの課題がある。しかし、我々の団結に疑いの余地はない」と強調。「選挙結果は国民の信頼であり、我々が全てを計画通りに実行することへの国民の希望だ」と話した。

ロシア全土のほか、プーチン政権が2022年9月に一方的に併合を宣言したウクライナ東・南部4州の占領地域や、14年3月から実効支配するクリミア半島でも投票が実施された。

これらの地域では23年9月のロシア統一地方選でも「州議会選挙」などを実施した。ウクライナや欧米の非難を無視し、支配の既成事実化をさらに進めた形だ。

今回の大統領選にはプーチン氏以外に3人が立候補した。いずれも政権に協調的な「体制内野党」の候補者で、論戦は低調だった。特別軍事作戦に批判的な元下院議員らも出馬を目指したが、事務手続きの不備を理由に候補登録を認められなかった。

前回18年の大統領選は、連続3選を禁じる憲法下で実施され、再選されたプーチン氏は最後の任期に入ったはずだった。しかし、20年の改憲で大統領経験者に対する特例を設け、さらなる出馬を可能にした。6年後に再選されれば、最長で36年まで2期12年間、政権の座にとどまることができる。【モスクワ山衛守剛】

### (2)ベルゴロドの映像。ウクライナ軍が発射した砲弾がショッピングセンター近くの駐車場に落下(2024年3月17日)

車の近くにいた男性が死亡。ウクライナ軍は誰と戦っているの？

<https://twitter.com/i/status/1769358452927742320>



<https://twitter.com/AmbraBeni/status/1769358452927742320?s=09>

### (3)ナワリヌイ氏の右腕がビリニユスで襲撃、元恋人が暴行を認めた - 独占(2024年3月17日)

ロシア野党指導者、故アレクセイ・ナワリヌイ氏の元首席補佐官だったレオニード・ヴォルコフ氏が、3

月 12 日にリトアニアのビリニュスにある自宅前で待ち伏せされ、ハンマーで殴打された。ナワリヌイ氏の報道官キラ・ヤルミシュ氏は、X(旧ツイッター)への投稿でこのニュースを伝えた。

### ヴォルコフへの攻撃の背後にいる男

ロシアで最も有名な反政府活動家の一人であるヴォルコフ氏は、2023 年までナワリヌイ氏の元首席補佐官および反汚職財団の理事長を務めた。ヴォルコフ氏はナワリヌイ氏の親しい友人だった。

ACFとリトアニア当局者の両者は、この攻撃はプーチン大統領によるものだと急いで非難した。

しかし、真実はもう少しスパシーであることが判明しました。

### ビリニュスで打ちのめされる： ナヴァルヌイの右腕がヴィリニュスで襲撃され、元恋人が暴行を告白

故ナヴァルヌイ氏の盟友レオニード・ヴォルコフ氏がハンマーによる襲撃を受け、ヴィリニュスの平穏な街は暴力に打ち砕かれた。当初はプーチンの犯行とされていたが、個人的な恨みが発覚し、筋書きはねじれた。かつてヴォルコフと親密だったロスティスラフ・ゴリャチョフが、陰悪な愛情をめぐって怒りを爆発させ、私たちに疑問を投げかける： この乱闘の背後にあるものは何なのか？

衝撃的な告白を目撃し、愛、裏切り、政治のもつれた網を解きほぐす。ドラマの全貌をお見逃しなく。これは単なるニュースではなく、崩壊した同盟関係から噴出する混乱を垣間見ることができる。



<https://twitter.com/Z58633894/status/1769208180121473504?s=09>

## (4)プーチン氏、記者会見要旨 ナワリヌイ氏にも言及(2024 年 3 月 18 日)

ロシア大統領選挙に無所属で出馬した現職のウラジーミル・ #プーチン 氏が、モスクワ市中心部の自身の選挙事務所で記者会見に応じた。

### ◇ ウクライナ情勢

- 特別軍事作戦での主導権は完全にロシア軍にあり、毎日前進がある。
- ウクライナ側の損失は非常に大きい。
- (マクロン仏大統領の五輪期間中の停戦案について)どんなことでも検討する用意はあるが、ロシアの国益に基づいて判断する。
- ウクライナによる攻撃から前線に近い地域に住むロシア国民を守るため、特別軍事作戦実施地域に「安全地帯」を設置することを排除しない。

### ◇ 西側からの批判について

- ナワリヌイ氏の死は悲しいことだが、拘束下にある人が亡くなる例は他にもあった。米国ではこういったことが 1 度もなかったとでもいうのか？(米国記者の質問に対し)

- ロシアは西側諸国に囚われているロシア人とナワリヌイ氏を囚人交換する用意があった。
- ナデジディン氏が選挙に参加できなかったのは、主に立候補時の不備が問題であり、彼は支持者らともっと協力して臨むべきだった。

◇ 西側諸国について

- 西側ではソ連崩壊後、ソ連と戦うことしか能がなかった多くの専門家が残された。彼らは仕事を失わないよう、今はロシアと戦っている。
- 国内の政治問題を攻撃的な外交レトリックで隠蔽するのは、記憶に残るよく知られた手段だ(マクロン仏大統領の「ウクライナ派兵」発言について)

◇ 露中関係

- 露中の利害が一致することは、国際社会の安定化要素であり、ロシアは中国との関係においては発展のみを進める。
- 台湾は中国の一部である。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1769488925163245900?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1769488925163245900?s=09)

(5)独裁国家ロシアで見られる恐ろしい投票所の様子(2024年3月18日)



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1769546860392538620?s=09>

## (6)大統領になる頃のプーチンの生活(2023年3月5日)

<https://twitter.com/i/status/1632336756292083713>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1632336756292083713?s=09>

## (7)プーチンは戦争中に選挙を行い、88%の票を獲得した。西側諸国はそれを「独裁」と呼ぶ(2024年3月19日)

投稿者コメント:ゼレンスキーは選挙を取りやめ、戦争のせいにする...西側諸国はそれを「民主主義」と呼ぶ。

おかしい話だ。



[https://twitter.com/2018\\_apc/status/1769784782982980049?s=09](https://twitter.com/2018_apc/status/1769784782982980049?s=09)

## (8)ロシア大統領選には外国監視団が監視を行っている(2024年)

国際監視機関は、スプートニクの取材に対し選挙手続きが国際法に準拠していることに称賛した。  
・イタリアのルシディ氏は選挙を監視するためにルガンスク市を訪れた。すべてが違反なく進行していると述べた。



[https://twitter.com/bs\\_fbo/status/1768629138427134463](https://twitter.com/bs_fbo/status/1768629138427134463)

### (9)学校、幼稚園、家、農場、ロシア人がやってきて、彼らはすべてを建てた(2024年3月19日)

ウクライナ人がやってきて、すべてを台無しにした。ウクライナ人がやってきて、すべてを台無しにした。何もかも壊して取り壊した！

リヴォフの住民は、ソ連とキエフ政権下の生活の違いについて語った。

<https://twitter.com/i/status/1769758808010600647>



<https://mail.yahoo.co.jp/u/pc/f/message/AB08QGQAAKZUZflKnAa6qN89bRg>

### (10)プーチン再選についてのベネズエラ大統領コメント(2024年3月18日)

ベネズエラVEマドゥロ大統領:

プーチンは全「西側」帝国軍との戦争に完全に勝利した。

ウラジーミル・プーチン大統領の勝利で、長い道のりに足跡を刻みつけているロシア人民の勇気を表すものだ。

<https://twitter.com/i/status/1769722591109865953>



[https://twitter.com/Kumi\\_japonesa/status/1769722591109865953?s=09](https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1769722591109865953?s=09)

### (11)ウクライナでは野党がゼレンスキー政権への批判を強める(2024年3月19日)

もはや 大統領政権に対する苛立ちを隠さない。3月7日木曜日、ウクライナ議会最高議会の副議員は、キエフのアメリカ大使館から10日間の作業会議のためワシントンに行くよう招待されていたにもかかわらず、領土を離れる許可がなかったことに腹を立てている。2月、「これらの禁止措置は、重要な決定から議会を排除するために私たちに沈黙させようとする試みであると考えています」と国家安全保障・国防委員会の委員で野党ホロス代表(「声」)の選出者はルモンド紙に語った。「政府は、別個の独立機関である議会に、政府が何をしなければならないかを指示することはできず、それは完全に憲法違反である、と彼女は続けた。」

ソロミア・ボブロフスカの状況は特別なものではない。ペトロ・ポロシェンコ元大統領の野党ホロス党と欧州連帯に所属する数人の議員は数か月間、ロシア侵攻開始以来当局が要求していた国際行事への出席許可を受け取っていないと公に不満を表明してきた。彼らの任務の一部です。

#### 「戒厳令の乱用」

2014年から2019年まで権力を掌握し、現在は国会議員となったペトロ・ポロシェンコ氏は、2月末には欧州委員会拡大・欧州近隣政策担当のオリバー・バルヘリ氏に、この使用に異議を唱える書簡を送りさえした。同氏によれば、「戒厳令と戦争の乱用」は、「反対派の政治分野を一掃し、国際舞台から孤立させる」ことを目的としているという。



<https://twitter.com/Z58633894/status/1769893719069880371?s=09>

## (12)ロシア大統領選挙期間中、ロシアのインフラに対して 497 件の DDoS 攻撃が行われた(2024年3月19日)

※DDoS 攻撃=攻撃対象となる Web サーバーなどに対し、複数のコンピューターから大量の packets を送りつけることで、正常なサービス提供を妨げる行為。

Roskomnadzor によると、1 回の攻撃時間は最大で 40 時間以上であった。

サイバー攻撃に関与した国は、ドイツ、イギリス、アメリカ、フィンランド、リトアニアであった。



<https://twitter.com/tobimono2/status/1769796892366410042?s=09>

## (13)放っておけばウクライナは永遠に寄生する = 米実業家(2024年3月19日)

米国政府は ウクライナ が永遠に寄生し続けることを許すべきではない。米実業家のデイビット・サックス氏は SNS で次のように投稿した。

「ウクライナは破綻し、腐敗した国であり、もし我々がそれを許せば、永遠に米国に寄生し続けるだろう」

◆ 米国は 34 兆ドル(5070 兆円)もの巨額公的債務を抱える国家であり、こうした展開は米国にとって望ましくないという。そのうえで、必要な限り ウクライナ支援 を続けるという表明は「本当に愚かな約束だ」と結論付けた。

👉 先にホワイトハウスは約 3 億ドル(450 億円)の新たなウクライナ支援を発表した。これは 2023 年末以降、最初の軍事支援。国防総省の支出を削ることで費用を捻出、これにより数週間分の戦費をカバーできるという。連邦議会は、下院で野党・共和党が過半数を占めており、ウクライナに追加で 600 億ドル(約 9 兆円)を供与するという政権の要請が依然としてブロックされている。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1769891796530958520?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1769891796530958520?s=09)

## (14)ウクライナの強制動員(2024年3月18日)

キエフが2024年の動員拡大を発表した後、すでに22人がウクライナからルーマニアに逃れようとしてティサ川で溺死した。

最近、ルーマニアの国境警備隊が川で別の遺体を発見した。

<https://twitter.com/i/status/1769737355244470428>



<https://twitter.com/AmbraBeni/status/1769737355244470428?s=09>